

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月24日 ▶ 10月6日



成年女子準々決勝

主審 安西 郷史

副審 橋 貴志

福岡県 96

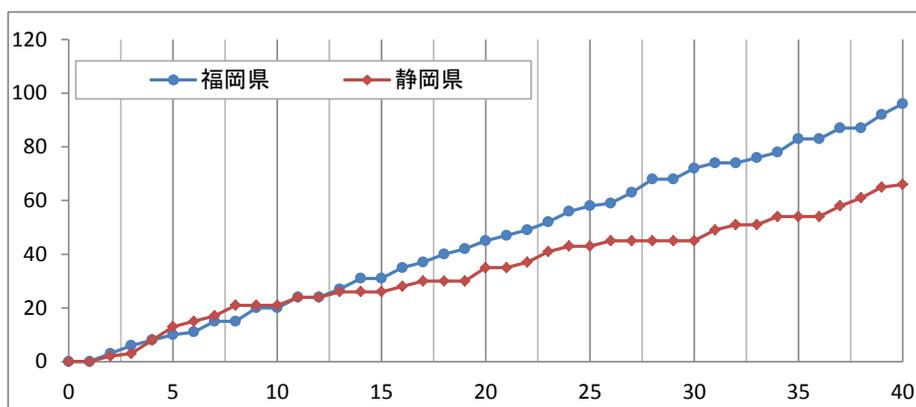


20	—	21
25	—	14
27	—	10
24	—	21
—	—	—

66 静岡県



No. 23G-2 日時：2015年9月23日(水) 11:55 会場：海南市総合体育館Gコート



福岡県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	坂口 千晶	10	2	2	0	0	2	8
5	津野 彩華	0	0	0	0	0	5	1
6	藤 紗織	12	2	3	0	0	7	4
7	* 金原 彩姫	14	1	4	3	1	4	4
8	* 吉田 緑	3	1	0	0	1	2	0
9	* 渡辺 絵里加	5	1	1	0	1	1	1
10	山内 葉月	19	2	5	3	1	5	1
11	溝口 早希	9	0	4	1	2	1	3
12	* 中田 鈴香	5	1	1	0	2	1	2
13	津田 史穂莉	8	0	4	0	1	3	0
14	上原 美月	2	0	1	0	2	2	0
15	* 成松 祐里 (C)	9	1	3	0	1	6	4
コーチ 木村 友彦						0		
合計		96	11	28	7	12	39	28

静岡県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 柘植 由美子 (C)	3	0	1	1	0	2	1
5	* 名木 洋子	13	2	3	1	1	7	2
6	横山 愛	0	0	0	0	0	0	0
7	* 外村 悠貴	5	1	1	0	0	4	5
8	* 外山 優希	13	1	5	0	3	1	0
9	竹市 彩未	0	0	0	0	0	2	0
10	岩崎 奈津紀	0	0	0	0	0	0	0
11	* 川村 美沙都	14	1	5	1	0	2	1
12	大島 美代之	3	1	0	0	3	1	1
13	勝山 果歩	7	0	3	1	2	1	0
14	岩本 はる菜	0	0	0	0	1	0	0
15	鷹嶋 公歌	8	0	4	0	2	1	2
コーチ 高橋 宏典						0		
合計		66	6	22	4	12	21	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦 評

準々決勝、福岡県対静岡県。両チームマンツーマンでスタート。1ピリオド序盤、福岡県は#8の3Pなどで6-3とリードするも、静岡県のドライブやインサイドでのプレーにファウルが増え、静岡県#5の3P、#13のインサイドでの得点などで逆転。その後は拮抗した展開となり1ピリオドは20-21で静岡県1点のリード。2ピリオド、福岡県は#6、#10の3Pやスティールからの速い攻撃で得点を重ねる。静岡県は#13、#11のドライブなどで得点するが、福岡県のシュートがよく決まり徐々に差が開く。静岡県#7がブザービートで3Pを決めるも45-35、福岡県10点リードで前半を終える。

後半に入っても流れは変わらず、福岡県が確実にシュートを決める。静岡県は#5のミドルシュートなどで得点するが点差は広がり、3ピリオドを終わって72-45。4ピリオド、静岡県はオールコートでプレッシャーをかけ意地を見せるも、福岡県が冷静にゲームを運び96-66で試合終了。福岡県が準決勝進出を決めた。

© 2015 Yuzo Kosaka All Rights Reserved. Vol. 007a

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆
平成27年 9月24日 ▶ 10月6日



成年女子準々決勝

北海道 51

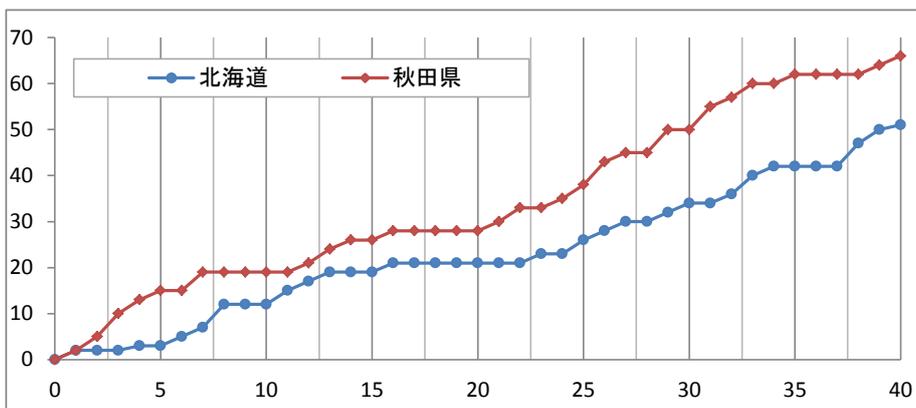
66 秋田県

主審 福岡 敏徳

副審 堀江 友希

12	-	19
9	-	9
13	-	22
17	-	16
-	-	-

No. 23G-4 日時：2015年9月23日(水) 15:45 会場：海南市総合体育館Gコート



北海道

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 檜森 彩花	0	0	0	0	0	1	0
5	多田 美紗希	3	1	0	0	1	1	2
6	渡邊 莉子	6	2	0	0	1	0	0
7	* 熊谷 春花	7	1	2	0	3	7	3
8	工藤 稚菜	0	0	0	0	0	0	0
9	佐藤 友波	0	0	0	0	0	0	0
10	* 熊谷 いずみ (C)	11	0	5	1	4	12	1
11	* 藤原 恵美	9	0	4	1	3	7	2
12	* 小島 加奈恵	2	0	1	0	2	0	0
13	古屋 有紀	9	0	4	1	1	2	0
14	田中 渚小	2	0	1	0	1	1	1
15	佐藤 風花	2	0	1	0	0	1	0
コーチ 泉 春美						0		
合計		51	4	18	3	16	32	9

秋田県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 成田 麻沙美 (C)	2	0	0	2	1	0	2
5	* 矢上 若菜	19	3	4	2	0	3	2
6	鈴木 友佳子	8	0	3	2	1	9	0
7	小松 恵	6	0	3	0	1	6	2
8	大野 真湖	2	0	1	0	0	2	0
9	* 永野 友香里	0	0	0	0	2	5	2
10	* 加藤 茉奈美	12	2	1	4	1	2	1
11	花田 遥歌	2	0	1	0	1	3	2
12	阿部 優美香	2	0	0	2	1	3	0
13	加藤 三津子	0	0	0	0	0	1	1
14	有明 葵衣	0	0	0	0	1	4	1
15	* 伊藤 美和子	13	1	4	2	3	10	3
コーチ 小笠原 真人						0		
合計		66	6	17	14	12	48	16

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

準々決勝、北海道対秋田県。両チームマンツーマンで始まる。開始3分、秋田は#10の3Pを皮切りに#5の3P、スティールなどで2-13と一気に流れをつかむ。序盤かたさのみられた北海道は#11のインサイドなどで応戦、少しずつオフェンスが機能し始め、1ピリオドを12-19で終える。2ピリオド、両チーム互角の戦い。北海道は#7と#13の息の合ったプレーで会場を沸かす。対する秋田は#5のドライブを主体に得点。21-28、7点差は変わらず前半を終える。3ピリオド、秋田は#15のインサイドでのプレーで徐々に点差を広げる。北海道は#10のインサイド、#6の3Pなどで食らいつこうとするが、秋田のリバウンドの強さが光り、34-50と秋田がリードを広げ3ピリオドを終える。4ピリオド、北海道は#13のリバウンドからのシュートなどで得点するが、秋田は#8、#7がインサイドをうまく攻める。北海道は終盤オールコートでプレスをかけるが、秋田は巧みにゲームをコントロールし51-66で秋田が準決勝に駒を進めた。

記事者 大江 拓史 (所属) 和歌山県バスケットボール協会